

個人質問



本市議会ホームページで、過去 1 年間の本会議における
質疑および一般質問の映像を録画で配信しています。



日本共産党
しまさき やすみ
島崎 保臣



「統一協会」と市長の関わり

問 団体の集会で来賓あいさつを行ったことは、団体の活動を利するものであり、「公務でないから問題ない」では済まされませんか。反省すべきではありませんか。

答 信頼する後援会の方から、コンプライアンスはもう確立したと誘われ、プライベートで参加しました。今の報道等を見ると、結果的には反省点があると考えます。よさこい特別演舞に参加する必要性について

問 コロナ感染で市民も医療機関も大変な中、市長自身がよさこい特別演舞に参加して踊る必要があったのですか。

答 よさこい祭振興会名誉会長として歴代市長と同様に毎年参加しています。今年は追手筋演舞場だけでしか踊っておりません。

なお、この答弁の一部が事実と異なっていたため、本会議最終日に、記録を確認したところ、はりまや橋会場でも踊りに参加しており、記憶違いでしたと市長がおわびをして訂正されました。



山嶽会
たかはし ひろただ
高橋 裕忠



個人情報保護について

問 個人情報の不適切な取り扱い事案に対する今後の対応策は。

答 (市長) 職員による業務目的外での個人情報閲覧・漏えい事案では市政に対する信用失墜を招き改めて深くおわび申し上げます。漏えい事案を受けて職員に対する通知・研修を行い、個人情報の取り扱いの周知徹底を図るとともにチェック体制を強化するなど適正な業務執行を図ってまいります。教育政策について

問 GIGAスクール構想のその後の取り組みについて。

答 (教育長) GIGAスクール構想の推進によるICT機器を活用した授業の展開が加わったことにより、児童生徒が主体となつて授業を進めていく形が加速してきていることを実感しています。一方で家庭学習の通信環境の整備、視力等の健康面への配慮などの課題を認識しております。今後はICT有効活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、一層取り組みます。



市民クラブ
かつ き りょうきく
甲木 良作



六泉寺町市営住宅の団地再編

問 六泉寺町市営住宅の建て替えに関して、懇話会で住民の方々に寄せられたご意見・ご要望が、今後の潮江南地区のまちづくりはどう反映されていくのか、都市建設部長に伺う。

答 懇話会でいただいた、ご意見・ご要望については、「基本計画の策定」や「民間活力導入可能性調査」などに反映させ、潮江南地区のまちづくりにつなげてまいります。

保育施設みらい構想検討事業

問 児童数減少への対応として、まず施設の統廃合や規模の縮小などが考えられるが、保育施設みらい構想検討事業における公立と民間の考え方や進め方について、こども未来部長に伺う。

答 2045年の児童数推計では約3500人、率にして約25%の減少が見込まれ、定員縮小や多機能化による対応にも限界があり、まずは公立施設について検討を進めることを優先すべきだと考えている。



新こうち未来
かわむら 川村 貞夫



問 2022よさこい鳴子踊り特別演舞開催を強く勧めた理由は、

答 新型コロナウイルス感染症のため、祭りが2年中止された。よさこい事業者への影響は大きく、将来のよさこい祭り開催に多大なる影響が出ることを強く懸念していた。本場高知がウイズコロナの時代の中で、開催を見せることは意義あることと考え決断した。

問 知事と一緒に練馬区を訪問されたが、連携して「らんまん」をどのように盛り上げるのか。また、神戸市との連携をどのように考えるか。

答 練馬区では、牧野博士の書を再現して、博士の研究への情熱を伝えることに取り組んでいる。10月開催の「練馬まつり」に県と共に参加し、観光PRを行う。

また、神戸市には、牧野博士の窮状を救った池長孟氏にまつわる石碑や、博士の助言で実現した六甲高山植物園などがあり、博士とゆかりの深い場所である。県と連携して、関西圏からの誘客への取り組みを具体的に検討していく。



日本共産党
はた あい



問 「国葬参加」市長をただすと、全額税金の国葬費用について、閣議決定を取り消し、国会で是非を判断する道理ある民生的な経過が、予算執行の原則では。

答 予備費は内閣の責任で支出し、事後に国会承諾を得る事で手続き上問題はない。ただ例外であり正当性などの丁寧な説明は必要。

問 コロナ交付金は命の現場に

答 社会福祉施設はコロナ拡大や物価高騰に苦しんでいる。貴重な新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約2億円をなぜマイナカード促進費に使うのか。

答 優先順位は設けず必要性等に十分に精査し個別の判断をした。遅れている普及率の改善を目指す。給付申請、ワンストップ窓口を

問 コロナ禍での収入減に対し生活を支援する制度は、25種類ほどある。市民が申請しやすいよう、総合窓口の設置を求める。

答 ワンストップ化は手続きを短縮でき、サービス向上になると認識するが職員やスペース確保等の面で難しい。効率化は検討する。



市民クラブ
おかざき 岡崎 豊



問 厳しい財政状況について

答 財政健全化のため、次期プランの策定について問う。

問 地方債残高が高止まりの上、財政の健全化判断比率は、中核市中最下位にある。平時とは異なる財政運営となるので、令和5年度から3年間の次期プランを策定したいと、市長は答弁した。

問 物価等の高騰対策を問う。

答 障がい福祉サービスだけでなく、高齢者福祉施設、救護施設等、市内約千施設・事業所に対して、物価高騰に係る給付金を支給すると、健康福祉部長は答弁した。

問 自由民権運動150年を記念する取り組みを問う。

答 板垣退助らが明治政府に「民撰議院設立建白書」を提出した明治7（1874）年から数えて、令和6年が150年となる。研究体制の充実を図り、「自由は土佐の山間より」を全国に発信し、再認識いただけるよう取り組みたいと、市長は答弁した。



市民クラブ
ながお 長尾 和明



問 東日本大震災の経験からも、南海トラフ地震の際は、ご遺体の仮埋葬を避けるべきと考えるが、本市の考え方を問う。

答 東日本大震災で仮埋葬を行った自治体からは、できる限り実施すべきでないと同っている。その理由として、仮埋葬による掘り起こしが想像を超える肉体的かつ精神的に苛酷な作業であったこと、衛生面を含め生活環境への影響が大きかったこと、早く火葬を願うご遺族への対応など厳しい現実に直面されたことを挙げられていた。

これまで、県と本市の連携会議の中でも検討しているが、仮埋葬によらない一時保存方法としては、低温保存などを検討している。しかし、コンテナなどの保冷庫的な設備等が必要となることから、その調達方法や設置場所、電源確保など、解決すべき課題が多い。

仮埋葬は、最終的な選択肢の一つとして残す必要はあるが、県が定める広域火葬計画に基づいた広域火葬の体制強化について、県ともさらに協議をしていく。



市民クラブ
かみおか しゅんすけ
神岡 俊輔



AEDの有効利用について

問 本市関連施設のAED（自動体外式除細動器）の総数と夜間や休日使用できないAEDは何か。

答 本市関連施設のAEDの総数は172台、うち施設等で夜間や休日使用できないAEDは151台で、割合は87・8%です。

問 AEDは、突然の心停止などの救命に非常に有効な機器であるが、夜間や休日には9割近くのAEDが使用できない実態が明らかになった。改善が必要では。

答 AEDは万一の際、夜間や休日問わず誰もが使用できる状態であることが望ましいですが、施設個別の対応も必要と考えます。

救急車の現場到着は約9分かかり、その時の救命率は1割程度と言われています。AEDは可能な限り市民の身近に置くべきで24時間営業のコンビニへの設置を進める自治体もあります。まずは、ふれあいセンターや小中学校のAEDは屋外への移設を進める必要があります。



公明党
いとう ひろゆき
伊藤 弘幸



学校AEDの屋外設置について

問 かねてより教育委員会に対し児童生徒、学校関係者や地域の方々の命を守るためAEDの屋外設置を求めています。

答 AED屋外設置に向けて今後のスケジュールを教育長に聞く。今年度の1月に実施したアンケート結果で市内59校のうち屋外設置がすでにされているのは4校。残り55校のうち「屋外への移設が可能」と回答した学校は39校で、令和4年度に執行される予算内での簡易な移設対応が可能な学校は、今年度中に順次屋外設置に着手します。

また、増設などの課題を解決する必要のある学校については、その理由や課題を整理した上で、必要に応じて令和5年度に対策費用の予算要求を行い、査定を通して検討します。

多くの人命を守るため、AEDの屋外設置については、スピード感を持って取り組むことを教育長および財務部長に強く求めました。



日本共産党
さこ てつろう
迫 哲郎



西敷地のセンダイヤ桜を守るため、広場整備で後継樹の育成を提案

問 センダイヤ桜は牧野富太郎博士が「高知の自慢」と愛したもののだが、西敷地のセンダイヤ桜は衰弱して枯死の危機にある。樹木医から後継樹育成の提言を受けた令和元年以降の対応は。

答 経過観察としてきた。樹木医が提言した接木による後継樹育成を予算化できないか。

答 樹木医と相談しながら適切に対応する。我々としても残していきたいと思っている（市長）。



西敷地のセンダイヤ桜

赤字補填が続く休館中の桂浜荘。コンサル再委託でさらに赤字拡大。

問 平成29年度の委託で、桂浜荘は売却等の案もすでに出されている。なぜ再委託するのか。

答 前回の調査では検討されなかつた運営再開に必要となる調査や検討を行うためである。



自由民主党
よこやま こうだい
横山 公大



本市が確保している飲料水の備蓄量と、目標とする量を問う。

答 昨年度末で総量として21万7500リットルを確保している。目標としては55万5千リットルの飲料水を確保していきたい。

問 災害時に汚水を飲料水にできる浄水装置の配備について問う。

答 実際に、高知城お堀の濁った水がこの装置によりきれいに浄化されたことから、飲料水の確保手段としての可能性がある。高知県防災関連登録製品にも認定されており、高知市の補助金対象製品でもあるので、各地域の防災組織での配備にも活用をいただきたい。

いじめ重大事態における姿勢を松下新教育長に問う。

答 本市で対応している重大事態事案について、初動対応の遅れ等解決に時間を要していることに率直に大変申し訳なく思っている。

この答弁については、3年間に及ぶ言及から、やっと教育長から法務相談体制の整備について明言されました。被害者にとって非常に心強い答弁です。



日本共産党
はまぐち かずこ
浜口佳寿子



必要な方全てに届く物資支援を

問 新型コロナウイルス感染症で支援が必要な全ての方に物資を届けるための配送体制強化、「自宅療養のしおり」の表現の改善の必要性について、健康福祉部長に伺う。

答 7月下旬に強化した体制を上回る感染となったので、適切な供給体制を検討したい。「しおり」は、本来物資支援が受けられる方が遠慮することがないよう改める。

市民不在の保育施設みらい構想

問 非公開で統廃合ありきの議論は人口減少に拍車をかけるだけ。保育現場など市民の意見を聞き、行政の責任に基づく慎重な審議が必要と思うが、市長の認識を伺う。

答 児童福祉審議会委員から意見を伺い、検討を進める。

自主防災組織の活動全般を補償する保険の制度化を求める

問 自主防活動に関わる保険について、自主防任せでなく市の責任で活動全般対象の制度化が必要と考えるが、防災対策部長に伺う。

答 安心して活動できるよう他都市の状況を踏まえ、検討を進める。



公明党
おおく ほたかし
大久保尊司



若者政策・若者支援について

問 本日に若者の意見を重視するためには、権限と予算が必要で「こうち志議会」の質問に対し、提案や要望のあった内容の中で、スピード感を持って、事業の推進や新規事業の施策立案などを実施するために予算を計上できないものか、市長に伺う。

答 「こうち志議会」でいただいた提案については、優先順位や費用対効果などを踏まえ、予算化を検討するが、本年度の「こうち志議会」で春野中学校の代表議員から提案を受けた「手洗場の蛇口とハンドソープの自動化」については事業化した。「こうち志議会」での提案は、真摯に対応する必要があると考えており、他の施策と同様の扱いにより予算化を検討すべきと考えている。未来を担う子どもたちの優れた提案は、郷土愛醸成の観点から地方創生にもつながるものとなるので、こうした観点も大切にしながら、「こうち志議会」での提案の趣旨を尊重し、検討していく。



新こうち未来
うじはら つぐし
氏原 嗣志



財政・経済について問う。

問 実質公債費比率も将来負担比率も中核市の中で最下位レベルであり、当面厳しい財政運営を余儀なくされる。コロナ禍、物価高騰による市民の皆さんへの影響が最小限度となるよう、支援策の検討を継続する。

高齢者等のコロナ感染対策について問う。

答 危機的な状況下で陽性となった方への対応に時間を要し、申し訳ない。現在、療養の考え方を国が見直し、発生源の対象が高齢者や基礎疾患がある方に重点化され、医療機関の負担軽減等、対応が改善されるものと考えている。

仕事探しに苦慮する障害者施設への公共事業発注について。

答 道路や公園を所管する部署から、障害者就労施設などに重点的に情報提供し、障害特性に配慮した作業の発注増加につなげる。春野小松の沼については、6月定例会でも提起し、3カ月が経過。盛り土の後処理について強力に訴えるも、いまだに進展なし。



日本共産党
ほそぎ りょうじ
細木 良



肥料価格の高騰対策として、下水汚泥堆肥化増産を。

答 下水汚泥肥料の需要が高まることも期待されるため、県や関連市と連携し、研究したい。

市東部（介良、五台山等）の公共交通空白地へデマンド型タクシーの導入を。

答 地域の交通状況やニーズ等の調査・研究を進め、検討する。

今後「車中泊避難」は増加する。避難場所の早期指定を。

答 商業施設の立体駐車場などを候補地として検討する。

持続可能な環境・社会を目指す「アグロエコロジー」を本市農業施策に生かしてほしい。

答 策定中の「第14次農業基本計画」に盛り込んでいきたい。

憲法26条に基づき学校給食無償化を。

答 約8億円が必要で財源的に困難。市長会を通じ国へ要望する。

問 旧統一協会のコンプライアンス違反の認識は。

答 現状でもコンプライアンス上の問題はあると考える。



公明党
たかぎ たまお
高木 妙



問 薮野東町市道一宮87号線の排水能力改善と浸水対策は。

答 浸水箇所とその上流域の一部で既存水路の流下能力が不足したことが判明した。来年度の梅雨時期までの完成を目指し、上下水道局では「一宮3号雨水幹線」に雨水を取り込むための整備を、都市建設部では横断水路の新設を行い、浸水被害の解消に取り組む。

問 (仮)動物愛護センター候補地住民説明会を開催した地域を候補地とした経緯は。

答 国土交通省土佐国道事務所より「高架下の有効活用」について高知県に提案されたもので、庁内協議を経て検討を始めた。

問 提案した2つの場所をセンター整備の候補地として検討に加えるよう要望していただけないか。

答 本会議でご要望のあったことを県にも伝える。

問 (仮)基本計画検討会議を立ち上げ市民と一緒に検討しては。

答 高知県とも協議を行い、そうした場の設定についても検討してまいりたいと考えている。



公明党
てらうち のりよし
寺内 憲資



問 下水道認可区域には、管理もせず無検査のまま使用している単独処理浄化槽が多くあるが、設置基数と受検率を伺う。

答 下水道認可区域における単独処理浄化槽の設置基数は1万3749基、法定検査の受検率は14.3%となっている。

問 受検率が低く、立ち遅れている浄化槽行政をどのように改善し成果を上げていくのか伺う。

答 浄化槽行政を推進していく上で、日頃から高知県をはじめ、浄化槽関係団体などとの連携した取り組みが重要であり、これら関係機関との協議を深め、検査体制強化の要請等を含め受検率向上に取り組んでいく考えである。

問 高知県は、片耳難聴者など障害者手帳を持たない18歳以上に對する補助金交付も前向きに動いていることから、高知市も県と足並みを合わせ支援制度の導入を求め、見解を伺う。

答 高知県と連携を図りながら、県の支援制度見直しに合わせ支援できるよう、財務部と協議する。



公明党
にしもり みわ
西森 美和



問 旭小学校周辺の浸水対策の進捗

答 旭小学校周辺の通学路の道路冠水の改善対策について、都市建設部長に聞く。

問 道路のかさ上げや排水機場への流入水路の整備など、より効果的な整備方針を決定するため設計委託業務の発注準備を進めている。また、本宮町排水機場の起動水位の設定変更や常時自動化への検討を進めている。

問 西久万地区の浸水対策の進捗

答 久万川左岸の堤防改修はまだ見通せない状況であるが、本市として早期に実施できる内水対策を検討するべく9月に西久万地区の浸水対策検討委託業務に着手した。

問 この委託業務では、排水施設の設置箇所や能力の検討に加え、その排水が久万川に与える影響や排水が制限された中でどの程度の浸水の軽減が図れるかなどについて、県と協議しながら検討を進める。

答 高知県と連携を図りながら、県の支援制度見直しに合わせ支援できるよう、財務部と協議する。

◇ 休憩室 ◇

次の朝ドラは「らんまん」です。それを盛り上げようと各地でさまざまな取り組みが行われていますが、牧野博士由来の植物を使って、酒蔵で蒸留した話題の「マキノジン」も発売されました。蒸留機のある場所は、博士ゆかりの地というのなぜか興味がかかります。「ジン」は何かを加えて楽しむそうですが、とりわけ高知の豊富な柑橘類と相性が良いそうですよ。

(議会広報委員 高木妙)

会派の構成と電話・FAX 番号

市民クラブ(8人)	☎823-9402	FAX 802-3055
自由民主党中道の会(7人)	☎823-9401	FAX 873-0121
日本共産党(7人)	☎823-9404	FAX 823-9558
公明党(6人)	☎823-9403	FAX 871-2485
新こうち未来(3人)	☎823-9406	FAX 822-8119
清和クラブ(1人)	☎821-9020	FAX 823-9350
山嶽会(1人)	☎821-9070	FAX 823-9350

※清和クラブ、山嶽会のFAX番号は議会事務局直通です。